

## 所蔵作品展「MOMATコレクション」

2019年11月1日[金] – 2020年2月2日[日]



小林耕平《東・海・道・中・膝・栗・毛》2016年

ビデオ・インスタレーション

作家蔵 courtesy of ANOMALY

## ■ 今期のみどころ

## ① 明治から平成まで、1時間でたどる時間旅行

20世紀はじめから今日に至る日本の近現代美術の流れを、国際的な関連も含めてご紹介するMOMATコレクション。第1室は「ハイライト」コーナーで、当館選りすぐりの名品がまとまっています。第2室から第12室にかけては、明治から現代まで、時代を追って日本の美術の流れをたどることができます。

## ② ギャラリー4まで使って美術の流れをたどりませ

いつもは小企画をおこなっているギャラリー4。今期はここを第13室として、明治から現在にいたる美術を、いつもより念入りに時代を追って紹介します。今回はぐっとわかりやすくするため、全13室のうち9室で、たとえば1923年、1943年、1950年代というように、部屋のテーマに年代を添えています。(11月1日～12月15日は全12室)

## ③ 第1室から第13室まで、特別展示作品があちこちに

新たな試みとして、小林耕平《東・海・道・中・膝・栗・毛》(2016年、作家蔵)を特別展示します。弥次さん、喜多さんのかけあいで知られる江戸時代の滑稽本、十返舎一九の『東海道中膝栗毛』に想を得た作品で、さまざまな場所に点在していますので、どうぞお見逃しなく。

プレス用イメージ・取材、展覧会内容など報道関係のお問合せ先：東京国立近代美術館 美術課広報担当(岩田)

TEL: 03-3214-2565 / FAX: 03-3214-2576 e-mail: [pr-f@momat.go.jp](mailto:pr-f@momat.go.jp)

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

11月1日～12月15日(前期)の第10室は、企画展「**鏑木清方 幻の《築地明石町》特別公開**」を開催

新しく収蔵した《築地明石町》《新富町》《浜町河岸》を44年ぶりにお披露目します。会場は第10室です。(別途観覧券が必要です。)

「鏑木清方 特別公開」広報事務局(担当:三井)

TEL: 03-3575-9823 / FAX: 0120-653-545 e-mail: [kiyokata-momat-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:kiyokata-momat-pr@kyodo-pr.co.jp)

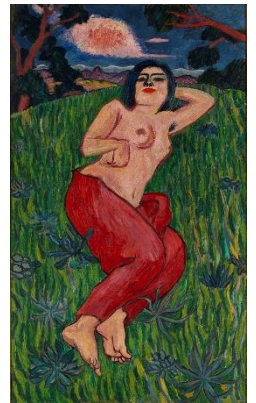
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7階

## ■ 作品解説をお手持ちのスマホで

所蔵作品展「MOMATコレクション」の作品解説(和英中韓の4ヶ国語)を、お客様ご自身のスマートフォンでダウンロードしてお楽しみいただけるサービスを行っています。「Catalog Pocket」というアプリをインストールすると、展示中の作品のうち、約80点の作品解説を4ヶ国語でご覧いただけます。解説を自動読み上げ音声で聞くこともできます。完全無料です。なお、この事業はDNP大日本印刷のご協力によるものです。



北脇昇《空港》1937年

萬鉄五郎《裸体美人》1912年  
重要文化財

## ■ キュレータートーク

11月2日(土) 14:00-15:00 三輪健仁(主任研究員)

12月20日(金) 18:00-19:00 中林和雄(副館長)

1月10日(金) 18:00-19:00 鈴木勝雄(主任研究員)

\* テーマ等詳細は当館HP( <https://www.momat.go.jp/am/exhibition/> )

にてご確認ください。

## ■ 所蔵品ガイド

毎日1時間ほど、対話を交えたギャラリートークを行っています。

最大の特徴は、作品解説を聞く一方向的なものではなく、参加者主体の鑑賞プログラムであること。参加者が当館解説ボランティア「MOMATガイドスタッフ」と対話を重ねながら、数点の作品を鑑賞します。

ガイドスタッフを案内役に、参加者は作品を自由に感じ、想像をめぐらせ、それを言葉にして語り合います。作品と向き合い、他の人との対話によって深く作品を掘り下げていく感覚は、まるで謎解きのようにもあり、新たな作品の魅力を発見する機会となります。

日時: 休館日を除く毎日、14:00-15:00

場所: 所蔵品ギャラリー(1Fエントランス集合)。要観覧券。参加は無料。



山下菊二《あけぼの村物語》1953年



所蔵品ガイドの様子

## ■ 画像の貸出について

所蔵作品展「MOMATコレクション」に出品中の作品は、どれでも**無料(広報扱い)**で画像を貸し出しています。貸し出しの**条件**は次のとおりです。

1. 展覧会(所蔵作品展「MOMATコレクション」)の会期中に発行される記事であること。
2. 掲載時には展覧会名(所蔵作品展「MOMATコレクション」)と会期、掲載作品が展示中であることを記してください。
3. 原則として、トリミングや文字載せはお断りします。
4. 著作権の保護期間内にある作品については、著作権者の許可をとってください。  
ただし、このプレスリリースに掲載されている画像については、著作権の保護期間にある作品もご利用になれます。
5. 画像の二次使用は原則できません。
6. 作品によっては、カラー画像が未撮影の場合もあります。事前にお問い合わせください。
7. 会期外の使用は、DNPアートコミュニケーションズ( <https://images.dnpartcom.jp/> )へご申請ください。有料です。

## 展覧会概要

タイトル	所蔵作品展「MOMATコレクション」
会期	2019年11月1日[金]ー2020年2月2日[日]
開館時間	10:00-17:00 金曜・土曜は20:00まで(入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日(ただし11月4日、1月13日は開館)、11月5日[火]、年末年始(12月28日[土]ー2020年1月1日[水・祝])、1月14日[火]
主催	東京国立近代美術館
会場	東京国立近代美術館 本館 4-2階 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
アクセス	東京メトロ東西線竹橋駅1b出口 徒歩3分
観覧料	一般500(400)円 大学生250(200)円 * 高校生以下および18歳未満、65歳以上、「MOMATパスポート」をお持ちの方、友の会、賛助会員、MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバー会員は本人のみ)、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料 * ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 * 17時以降の入館は「MOMATコレクション」観覧料が一般300円、大学生150円になります。 * 本展の観覧料で、 <b>入館当日に限り</b> 、工芸館の所蔵作品展「パッション20 今みておきたい工芸の想い」(12/20ー2020/3/8)もご観覧いただけます。
無料観覧日	毎月第一日曜日(11月3日、12月1日、2020年1月5日、2月2日)、2020年1月2日 * 所蔵作品展「MOMATコレクション」のみ (企画展「窓展:窓をめぐるアートと建築の旅」、「鎚木清方 幻の《築地明石町》特別公開」は観覧料が必要です。 * 11月3日は全館無料です。)
お問合せ	03-5777-8600(ハローダイヤル) <a href="https://www.momat.go.jp">https://www.momat.go.jp</a> (ホームページ)
同時開催	○企画展ギャラリー(1F) ◆「窓展:窓をめぐるアートと建築の旅」 2019年11月1日[金]ー2020年2月2日[日] 観覧料: 一般1,200(900)円 大学生700(500)円 ○所蔵品ギャラリー第10室(3F) ◆「鎚木清方 幻の《築地明石町》特別公開」 2019年11月1日[金]ー12月15日[日] 観覧料: 一般800(600)円 大学生400(300)円 * 高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。 * ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 * 「窓展:窓をめぐるアートと建築の旅」と「鎚木清方 幻の《築地明石町》特別公開」のセット券も販売します。(一般:1500円、大学生800円) * 企画展のチケットで、入館当日に限り、所蔵作品展「MOMATコレクション」もご覧いただけます。